BFS健康宣言

豊かな健康文化を創造します

ビー･エム･エルグループは、この企業理念を実現するために、社員一人ひとりが健康第一の風土醸成を通じて、健康経営を推進し、豊かな健康文化の創造に貢献することを宣言します。

１．ワーク･ライフ･バランス

ワーク･ライフ･バランスを推進し、多様な社員が活躍できる職場づくりを行います

２．こころと身体の健康

社員とその家族のこころと身体の健康保持・増進に努めます

３．自主的な健康づくり

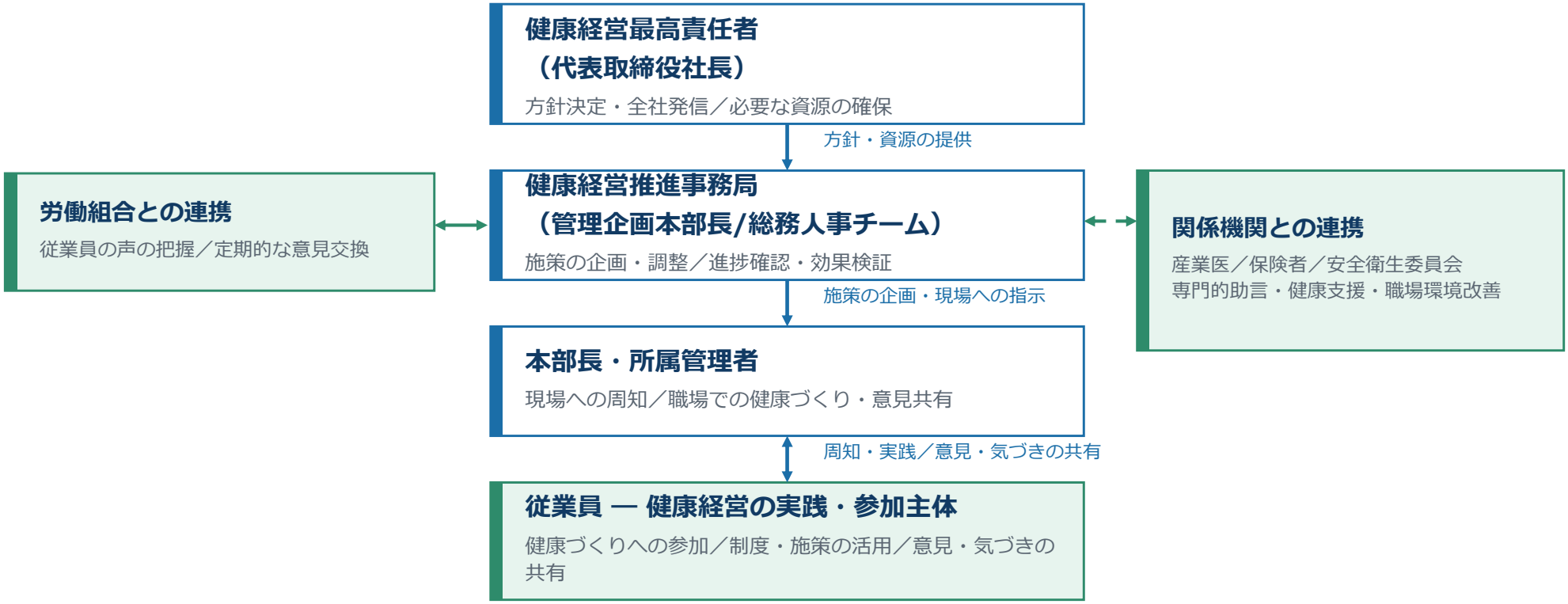
社員一人ひとりが自主的に健康を維持増進するための取組みを支援します

株式会社ＢＭＬフード・サイエンス

代表取締役社長　小日向　清隆

健康経営推進体制

経営層・事務局・現場・従業員・関係機関が連携して推進します



各主体が連携し、健康投資を職場の変化と経営上の成果につなげます。

健康経営戦略マップ

2026年9月作成

健康投資

こころと身体の健康保持・増進
- 年2回の定期健康診断
- インフルエンザ予防接種補助
- オプション検査の充実・費用補助
- 社内・社外相談窓口の整備

自主的な健康づくりの支援
- 健康情報の提供
- 健康診断結果に基づくフォロー
- 特定保健指導の利用促進
- 健康行動の促進

ワーク･ライフ･バランスと多様な働き方
- 多様な勤務制度
- 時間外労働の把握とォローアップ
- キャリア形成支援

健康投資効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標	従業員の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
・健康診断受診率 ・ストレスチェック受検率	・適正体重割合の向上 ・高ストレス者率の低減	・ワークエンゲージメントの向上
・健康増進研修の受講率 ・特定保健指導受診率	・運動習慣のある従業員割合の向上	
・時間外労働の適正化小委員会の実施 ・休暇取得の推進 ・上司との面談・コミュニケーション機会の確保	・時間外労働の低減 ・有休取得率の向上 ・キャリア申告による働きやすさ指標の向上	

KGI

ワークエンゲージメントの向上
現状 2.51
↓
2028年度
目標 2.80

測定方法：ストレスチェック「新職業性ストレス簡易調査票」により測定

健康経営目標

持続的な成長に向けた人材の定着化

および

パフォーマンス向上

健康経営の推進方針

ワーク･ライフ･バランスを推進し、多様な社員が活躍できる職場づくりを行い社員とその家族のこころと身体の健康保持・増進に努めます

経営方針

従業員が安心して力を発揮できる職場をつくり、働きがい・やりがいを高めることで、企業価値・社会的価値の向上を目指す

従業員の健康課題

高ストレス／生活習慣病リスク／メンタル不調

各指標の実績値・目標値

評価指標	2024年度	2025年度	2028年度目標
定期健康診断受診率	100%	100%	100%
適正体重の割合 BMI18.5～25.0未満	68.9%	67.3%	68%
非喫煙率	88.3%	90.1%	91%
運動習慣のある従業員	17.7%	15.3%	17%
ストレスチェック受診率	100%	100%	100%
高ストレス者率	11%	12.4%	10%
特定保健指導受診率	0%	0%	50%
ワークエンゲージメント	2.48	2.51	2.8

※BMIは指数が『22』前後の人が肥満に関係する病気になりにくいとされており、18.5～25.0未満は標準とされています。
BMI = 体重kg ÷ (身長m)^2　18.5未満＝痩せ型、18.5～25未満＝標準、25以上＝肥満
※運動習慣とは１回30分以上の運動を週２回以上実施し、１年以上持続している状態（息が少しはずむ程度の運動強度）です。
※ワークエンゲージメントとは、仕事に対して「活力」「熱意」「没頭」の3つが揃った状態を意味し、その充実度を測る指標として用いられます。
測定方法：ストレスチェック「新職業性ストレス簡易調査票」により測定。